

世界に照準

国際南科

朋有り遠方より来る 南科の実力を披露

国内外のお客様による南科訪問は南科のテクノロジーの力をアピールする絶好の機会です。南科管理局は2012年の一年間で国内外から181の訪問団をお迎えし、のべ6689人のお客様に南科を紹介することができました。財団法人北九州産業学術推進機構キャンパス運営センター長・秋成宏治氏、大分県LSIクラスター形成推進会議販路開拓部会会長・鈴木清己氏、元日本経済産業省次官・望月晴文氏、ドイツ在台協会会長・Michael Zickerick 博士、北京海峡兩岸民間交流促進会中関村科技園区管理委員会副主任・楊建華氏、北京大学国際EMBA院長・楊壯氏、交通部公路総局局長・吳盟分氏、高雄市政府顧問・何美玥氏、スイス国会議員 Sebastian Frehner 氏、財金文化董事長・謝金河氏など、各界で活躍する貴賓も多数南科を訪問。南科に根付いた確かな技術力に注目が集まり、高い評価を得ることができました。

2012年世界サイエンスパーク協会総会

南科は6月17日から20日までエストニアの首都・タリンで開催された世界サイエンスパーク協会（IASP）2012年総会で「南部科学園区與区域創新網路關係



■ 南科を訪問した財団法人北九州産業学術推進機構の一行（2012.01.17）

之探討（The Study of the Relationship Between Southern Taiwan Science Park and Regional Innovation Network）」と題した論文を発表。「医療機材産業集落発展計画」の実施を通じて産業界、学術・研究機関、医療現場がそれぞれ有する専門知識と研究成果をいかにビジネスに結び付けていくか、南科管理局の取り組みを紹介しました。期間中は現地の医療機材メーカーの訪問や他の参加者との交流も精力的にこなし、今後の南科発展のための足固めを行いました。



■ 高雄市政府の何美玥顧問（右）と南科管理局の陳俊偉局長（左）（2012.10.25）



■ 南科管理局の陳俊偉局長（右から2人目）と投資組・許増如組長（右から3人目）がスウェーデン・クオリティケアを訪問（2012.06.21）

日系企業の誘致に向けて積極攻勢 注目度アップ

日台提携のメリットをアピールしてより多くの日系企業の南科進出を促すため、南科管理局は7月8日から13日まで経済部の「2012年促進投資及産業合作訪日団」とともに訪日し、誘致活動を行いました。南科管理局は忙しいスケジュールの合い間を縫って日立、大日本印刷、住友商事、JX日鉱日石金属、日本電産など世界的な大企業を積極的に訪問。また、7月11日、12日に東京と大阪で行われた「台湾投資説明会及び相談会」では台湾への投資や産業提携についてアピールしました。当日は満員の大盛況で、出席した企業担当者からは南科の恵まれた投資環境についても熱心な質問が相次ぎました。



■ 東京の経団連会館で行われた台湾投資説明会には多くの人が集まった
(2012.07.11)



■ ロシア・デンタル EXPO の会場で外国企業担当者の質問に応じる (2012.09.17 ~ 20)

ロシア・デンタル EXPO 南科の医療器材メーカー が世界進出の機会を狙う

9月17日から20日までロシアのモスクワで開催された第32回デンタル EXPO では、国際的な認知度アップのため「台湾精品形象館」に南科企業の優れた製品を展示しました。期間中は商談会も行い、南科の医療器材メーカーが誇る先進技術を世界に売り込むことができました。





■ 訪問先の THUY AN 公司にて (2012.10.26)



■ 訪問先の Eka Hospital にて (2012.11.08)

2012 年アジアサイエンスパーク協会総会

アジアサイエンスパーク協会 (ASPA) 年次総会が 10 月 24 日から 27 日までベトナムのホーチミン市で開催され、南科からは管理局副局長の林威呈を団長とする一行がこれに参加しました。開催中は各国のサイエンスパークから派遣された代表たちとの交流を深めたほか、「The Next Stage Innovative Strategy for the STSP Biomedical Industrial Cluster (南科医療機材産業集落下一階段的創新策略)」と題した論文発表で、3 年あまりの「医療機材産業集落発展計画」推進の成果と今後の発展戦略について披露。発表後さっそく日本やベトナムのサイエンスパーク関係者から問い合わせがあるなど、日々着実に発展を続ける南科の医療機材産業にとって大きな追い風になりそうです。

識者が集まりバイオ医材の未来を語る

10 月 31 日、「創新医材啓航国際会議」が開催されました。当日は呉敦義副総統、朱敬一主任委員、成功大学の



■ 「創新医材啓航国際会議」開
会式で挨拶する呉敦義副総統
(2012.10.31)

黄煌輝校長、中央研究院の頼明詔院士も出席して開会の言葉を述べたほか、「台湾生技医材思考與國際接軌的指標」をメインテーマとして張有徳博士、蘇懷仁博士、Thomas Fogarty 博士、Dror Seliktar 博

士、Fred B. Dinger 氏に講演を依頼。産官学、そして医療現場が持つ資源を上手に組み合わせ、バイオ医材の研究開発やイノベーションに生かしていくことが求められています。

ジャカルタで出展 医療機材産業に大きな商機

東南アジア最大の人口を有するインドネシア市場への南科企業の進出の足がかりを掴むべく、南科管理局は 11 月 8 日、「2012 年ジャカルタ・ホスピタル EXPO」に参加しました。ジャカルタ滞在中は現地の有力医療組織 Eka Hospital や病院協会なども訪問し、現地の医療市場のニーズや潜在力を知ることができました。南科管理局はこうした現地での活動を生かし、今後インドネシア市場進出を検討する入居企業により具体的なアドバイスを提供していきます。

世界科学都市連合に参加 世界のサイエンスパーク発展の動向を探る

各国のサイエンスパーク発展の経験に学ぶとともに国際交流の舞台における南科の認知度アップを目指し、2012 年 10 月 13 日から 17 日まで、韓国テクノパークの大田市で行われた世界科学都市連合 (WTA) のシンポジウムに参加。当日は欧米の専門家が「Valorization : Tangible Benefits from Science & Technology Parks」に関するスピーチを行いました。また主催者側が企画した見学ツアーでは、伝統文化と現代テクノロジーが共存する大田の街並みに参加者一同深く感銘を受けました。